

ポスターセッション推薦テーマ

名 称：沖縄西海岸道路（那覇西道路、豊見城・糸満道路）開通後の交通状況について	
説明者：南部国道事務所	◎調査第二課長 那覇 出 和也
	◎ 調査第一課長 眞栄里 和也
	○調査第二課調査係長 内間 安治

1. 内容

沖縄西海岸道路は、産業や人口の集積する沖縄本島中南部西海岸地域の交通渋滞の緩和、物流の効率化、観光などの産業振興を目的とした読谷村から糸満市に至る約 50 km の地域高規格道路である。

那覇西道路および豊見城・糸満道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道 58 号、331 号等那覇市街及びその周辺の混雑緩和と、那覇港・那覇空港へのアクセス向上などに寄与する道路である。

その那覇西道路が平成 23 年 8 月に供用、糸満・豊見城道路は平成 24 年 3 月に供用され、本稿は、両道路における開通後の交通状況について報告するものである。

○那覇西道路

開通 1 ヶ月後、半年後調査の結果、以下の効果等が確認された。

- (1) 那覇市街の国道 58 号などからの交通が更に分散
- (2) 明治橋交差点では浦添向けや真玉橋向けの渋滞がほぼ解消
- (3) 新たな通勤ルートとして定着
- (4) 物流拠点が結ばれ物流の効率化に効果
- (5) 時間短縮効果が見られるものの依然として混雑区間も確認

○豊見城・糸満道路

供用直後調査の結果、以下の効果を確認した。

- (1) 交通量の分散（現国道 331 号の交通量が減少。豊見城・糸満道路へ転換。）
- (2) 糸満ロータリー交差点の交通混雑が緩和
- (3) 南部地域への移動時間が短縮

2. 展示規模・イメージ

- ・ A1 版パネル（縦）を 5 ～ 6 枚使用予定
- ・ PC は使用せず、上記パネルにより説明